

令和2年度(第48回) 仙台市中学校新人大会ソフトボール競技 実施要項

1. 目的 仙台市中学校ソフトボール競技の向上と強化を目的とし、仙台市内の優秀なチームを選抜し、試合を通して精神力と競技力の向上を図る
2. 主催 仙台市中学校体育連盟 仙台市教育委員会
3. 主管 仙台市ソフトボール協会 仙台市中学校体育連盟ソフトボール専門部
4. 会期 (1) 区大会 : 令和2年10月10日(土), 11(日) [予備日: 10月12日(月)]
(2) 全市大会: 令和2年10月17日(土), 18(日) [予備日: 10月31日(土)]
※区大会について、10月10日(土)が中止になった場合、11日(日), 12日(月)の2日間開催とする。
10月10日(土), 13日(日)がともに中止になった場合、14日(月)に1日開催とする。
※市大会について、10月17日(土)が中止になった場合、18日(日)に県大会に出場するベスト4まで決め、準決・決勝は10月31日(土)の予備日に行う。
10月31日(土)は県大会の予備日にもなっているため、県大会が延びた場合は、上位4チームで日程調整を行い、中学校会場で準決・決勝を行うこととする。
5. 会場 (1) 区大会
青葉区・・・広瀬中学校, 錦ヶ丘中学校 宮城野区・・・幸町中学校
太白区・・・柳生中学校 若林区 ・・・蒲町中学校
泉区・・・高森中学校
(2) 全市大会
仙台市海岸公園野球場 第5球場, 第6球場
6. 全市大会出場枠 青葉区2校・宮城野区2校・太白区2校・若林区2校・泉区2校
7. 県大会出場枠 4校(全市大会ベスト4進出校)
8. 登録人数 選手18名, 監督1名, 引率責任者1名, コーチ1名の計21名以内
9. 競技規則 2020年オフィシャルソフトボールルールによる。
10. 競技方法 (1) 区大会 : 各区で設定する。
(2) 全市大会: トーナメント方式で行う。ただし、3位決定戦は行わない。
11. 表彰 (1) 区大会 : 優勝校には優勝杯・賞状, 準優勝校と3位校(泉, 若林区を除く)には賞状を授与する。
(2) 全市大会: 優勝校には優勝旗・優勝杯・賞状, 準優勝校には準優勝杯・賞状, 3位校には賞状を授与する。
12. 申し込み 令和2年9月9日(水) 抽選会のときに提出
※申込書は、仙台市中学校体育連盟のホームページから、各校でダウンロードする。
※合同チームの申請書は、令和2年9月2日(火)までに部会長に提出する。
13. 参加費 1チーム 5,000円(9月9日(水)抽選会にて徴収)

14. 抽 選 令和2年9月9日(水)15時～ 中学校にて行う。

15. 大会規定

- (1) 打順表は、試合開始時刻30分前までに、第2試合以降は、前の試合の4回終了時に、主将が当該球場審判主任に5部提出する。その際、所定の用紙(5枚1組)に必要な事項(登録選手全員)を記入し、氏名に必ずふりがなをつけること。
- (2) ベンチは、組み合わせ番号の小さい方を一塁側とする。
- (3) セラミック製および、金属製のスパイクは禁止とする。
- (4) 捕手は準備投球の時もスロート付きマスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガースを着用すること。捕手以外の選手が捕球するときは、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメットを着用すること。監督、コーチが準備投球の捕手をする場合は、スロートガード付きマスクを着用する。また、捕手用ヘルメットを着用することが望ましい。
- (5) フィールディングは後攻チームから行い、5分以内とする。
- (6) 監督、コーチ、選手以外の試合の関与は認めない。また、引率責任者は試合に関して指導や助言を選手や監督に対して行うことはできない。
- (7) 抗議(プロテスト)は、監督に限る。
- (8) 試合球は、公認球ゴム製3号(ケンコーボール3号)を使用する。
- (9) 区大会における、対戦方法・試合時間・コールドゲームの規定については、区ごとに設定できる。
- (10) 決勝トーナメントについて、決勝を含め、試合時間は90分とする。制限時間を超えて新しいイニングに入らない。同点の場合はタイブレーカーを行い勝敗が決するまで行う。点差によるコールドゲームについては、オフィシャルルールに則る。
- (11) 原則として、試合時間の変更は行わないが、雨天、日没、不測の事態による試合時間の変更もありうる。
- (12) 原則として、申し込み後の登録選手の変更は認めない。
- (13) サスペンデットゲームを採用する。
- (14) ベースコーチは選手のみとし、ヘルメットを必ず着用する。

16. 大会申し合わせ事項

- (1) 第1試合のチームは、会場準備などを手伝うこととする。また、その日の最終チームは、会場片付けを手伝うこととする。
- (2) 選手は、中学生にふさわしい行動をとり、容儀・言動などマナーに十分留意すること。
- (3) 鳴り物による応援は禁止する。(メガホン、うちわ、ペットボトル等も含めて)
- (4) 応援の節度を守り、決められた場所で行うこと。保護者の応援の言動も監督の責任とする。十分留意すること。
- (5) 大会中の不慮の怪我・傷病については、当該校で処置することとする。
- (6) 大会期間中の車両へのいたづらや事故には、大会本部は一切責任を持たない。
- (7) 試合が連続する場合は、原則として30分空けてからのベンチ入りとする。
- (8) 監督、コーチもユニフォームを着用し、ナンバーは、監督30番、コーチ31番をつけること。
- (9) ゴミはすべて持ち帰り、会場を汚さないこと。
- (10) 各チームで互いに大会補助員を出すこと。
- (11) 雷鳴があった場合は、試合を一時中断し、雷が鳴り終わってから20分後に試合を再開する。
- (12) 試合中にメガホンを使用できるのは、監督のみで1個だけとする。
- (13) スピーディーな試合進行に努め、試合後は相手チームと健闘を称え、握手をすること。
- (14) 投手が投球姿勢(セット)に入り、投球が終了するまで、攻撃側は声出しや応援をやめ、静寂を保つこと。
- (15) 試合中の投球練習は、危険防止のため1組(内野→外野の向き)とする。また、危険防止のため、カバー役を1名投手側につける。
- (16) 各区大会1日目、監督会議の際にボールを2球提出すること。
- (17) 全市大会において、第4球場の芝生部分をアップ場所として使用してもよい。
- (18) 全市大会の球場の開場は、両日とも7:00とする。
- (19) 全市大会にて、雨で試合が実施できない場合、各区の1位の学校から抽選で代表校を決定する。

17. 区大会

	会 場	区責任者
青葉区	広瀬中学校・錦ヶ丘中学校	大槻 裕康 (広瀬中学校)
宮城野区	幸町中学校	細川 康介 (幸町中学校)
太白区	柳生中学校	女池 信一郎 (西多賀中学校)
若林区	蒲町中学校	梶川 ゆり子 (蒲町中学校)
泉区	高森中学校	佐藤 英明 (南中山中学校)

※ 監督会議について： 各区で時間を設定する。

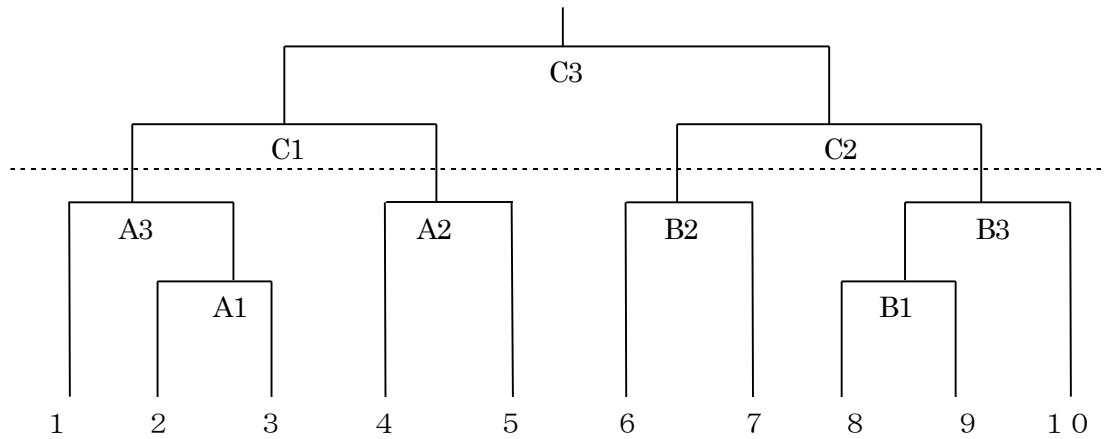
※ 雨天時について： 5：20 各区の責任者および会場校担当者 → 専門委員長に報告

5：30 各区責任者から各校顧問に連絡

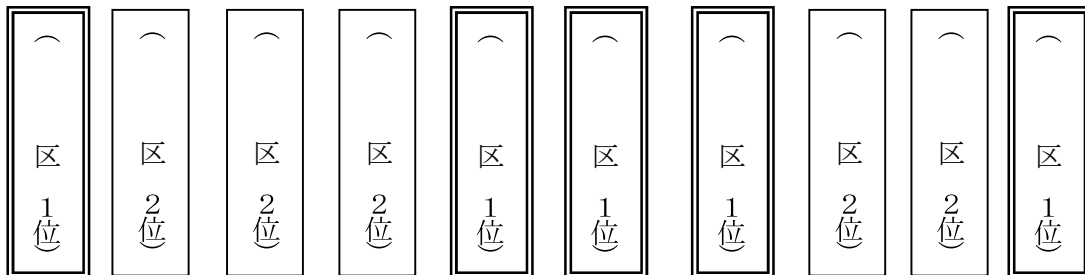
18. 全市大会 (決勝トーナメント)

	10月17日 (土)	10月18日 (日)
会 場	海岸公園野球場 第5, 第6球場	海岸公園野球場 第5, 第6球場
会場準備	6：45	7：00
監督会議	8：00 (第5球場前)	実施しない
雨天時の連絡	6：00以降に各校顧問が喜寿 (富沢中) に電話で確認	

※19日 (土) 外野フェンス設置のため、全市大会出場校顧問 (各校1名) は、会場準備にご協力ください。



中 中 中 中 中 中 中 中 中 中



日 付		第5球場	第6球場	日 付		第5球場
10月 17日 (土)	9：00～	A1	B1	10月 18日 (日)	9：00～	C1
	11：00～	A2	B2		11：00～	C2
	13：00～	A3	B3		13：15～	C3
						閉会式

19. 新型コロナウイルス感染防止対策について

(1) 参加者（生徒、顧問、保護者等）における留意点

- ① 参加者（生徒、顧問、保護者等）は当日の朝に健康観察及び検温を必ず実施し、健康チェックシート（様式1）に記入する。健康チェックシートは各家庭において記入し、顧問等に提出する。
- ② 以下のような症状が見られる場合は、参加を見合わせる。
症状例）発熱・倦怠感・咳・頭痛・息苦しさ・味覚や嗅覚の異常など
- ③ マスクの着用を徹底する。（競技中の選手及び審判を除く。）
- ④ 密集・密閉・密接を避ける。
- ⑤ タオル・コップ・ペットボトル等の共用は避ける。
- ⑥ 可能な限り試合時間に合わせた会場入りを心掛ける。

(2) 競技中における留意点

- ① バット、ヘルメット、グローブ、打撃用手袋、ロジンバックなどは各選手が使用し、可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共有せざるを得ない用具については、こまめに消毒を行う。
- ② 唾を吐く行為は禁止とする。
- ③ 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける。
- ④ ベンチ内での選手間の距離は、できるだけ2m（最低1m）確保する。
- ⑤ ベンチ内には消毒液を設置する。
- ⑥ 監督、コーチが審判に近づく際には最低2mの距離を保つ。
- ⑦ 試合前の打順最終確認の際は、可能な限りお互いの距離を取り、監督、審判の握手は行わない。
- ⑧ 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をして行う。試合終了時も同様の形態とする。

(3) 参加者に体調の変化等があった場合の留意点

- ① 参加者に体調の変化（発熱や倦怠感など）があった場合は以下のように対応を行う。
 - ・すぐに下記のとおり連絡・報告を行う。
*生徒（保護者）→顧問→会場責任者・会場養護教諭→専門委員長→部会長
 - ・発生当日に確実に連絡を行うこと。
- ② 健康チェックシート（様式1）の保管
 - ・体調不良者が発生した場合、当日の健康の状況について確認する必要があることから、健康チェックシートに関しては、1か月程度保管する。

(3) その他の留意点

- ① 手洗い場所・洗面所（トイレ）にハンドソープを設置するので、手洗いの際には必ず使用し、30秒以上行うこと。
- ② 参加者は手洗いの際、自身のハンカチを持参し、利用すること。
- ③ 観戦者は隣の人との間隔を開け、以下の行為をしないこと。
 - (ア) 肩組み、飛び跳ねなど集団での動きを伴う応援（接触感染リスク）
 - (イ) 立ったり座ったりを繰り返す集団での動きを伴う応援（接触感染リスク）
 - (ウ) 太鼓、トランペット等の楽器をでの鳴り物応援（飛沫感染リスク）
 - (エ) メガホン、スティックパルーンを使用しての応援（飛沫感染リスク）
 - (オ) 大声を出しての応援（飛沫感染リスク）
 - (カ) フラッグや応援タオルを振り回す応援（飛沫、接触感染リスク）
- ④ 各参加校の引率者は、以上の感染拡大対策及び健康チェックシートについて、当日参加する選手、監督、コーチ、保護者全員に周知徹底すること。